

事業番号	03 03 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検		
事業名	コンプライアンスの推進		部局	総務部	課・室	コンプライアンス・行政経営課
			実施期間	H27～	E-mail	comp-gyosei@pref.nagano.lg.jp
次期総合5か年計画（答申書）との対応関係						
政策の柱						

1 現状と課題

- ・職員一人ひとりがコンプライアンスを「自分ごと」として捉え、ルール軽視の発想の根絶や、ミスを含めた仕事上の不安を隠せず相談できる、風通しのよい職場環境づくりに向けた一層の取組が必要。
- ・不適正な事務処理を防止するため、内部統制制度について管理監督者を含む全職員が制度を理解し適切に運用することが必要。

2 事業目的

- ・法令に基づく業務執行を基本としつつ、単なる法令遵守という受け身の姿勢に留まらず、社会の環境変化に敏感に対応し、必要ならばルール自体の見直しに柔軟に取り組むことにより、県民や社会からの要請に的確に応えることができる組織を目指す。
- ・「県民起点」の意識改革、風通しのよい対話にあふれた組織づくり、適正な事務処理のための仕組みづくりの一体的な取組により、県民の信頼と期待に応えることができる組織を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

- ①職員研修の充実
- ・リスクマネジメントを含めたグループワークを主体とした所属長等研修を開催。
 - ・ハラスメントの一層の防止対策を図ることを目的に、所属長等を対象とした外部の専門家による研修を開催。
 - ・近年増加するハードクレームへの適切な対応について組織的に取り組むための県民対応研修会を開催。
- ②各所属における風通しのよい職場環境づくりの取組
- ・コンプライアンス推進月間において全所属で不適切事案に係る問題点の意見交換等の取組を集中的に実施。
 - ・相談専用電話や職員相談員による個別対応の実施。
- ③内部統制制度の確実な運用
- ・全所属による内部統制制度の確実な運用と定着、及び内部統制評価報告書の策定と議会への提出。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度	R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移			
①-1	所属長等研修への参加者数	人	198	230	↗	200	↘	200	△	社会環境が変化している中、コンプライアンスの推進のためには、管理監督者が本県の目指すコンプライアンスについて十分理解することが必要であることから、対象者250名の8割を目標値として設定。
①-2	上記研修アンケートで「理解できた」と回答した職員の割合	%	93	94	↗	90	↘	90	△	研修への参加だけでなく、理解・習熟が重要であることから、過去の理解度を参考に目標値を設定。
②	指標なし								△	
③	指標なし								△	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)				0		3.8
	(要求)		4,493		4,493	4,482	
R4年度	0	4,447		4,447	4,441		3.8
R3年度	0	4,094	0	4,094	4,087	3,665	3.8

事業番号	03 03 01	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	コンプライアンスの推進		部局	総務部	課・室	コンプライアンス・行政経営課

細事業No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
1	職員のコンプライアンス意識改革	3,781 千円	3,775 千円	(予算案) (要求) 3,818 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	コンプライアンス推進本部会議の開催 （コンプライアンス推進参与の任用）	直接	全部局長で構成する本部会議を開催し、コンプライアンスに係る重要事項について協議を行う。また、指導・助言役として、コンプライアンス推進参与を任命する。 推進本部会議3回		
2	職員研修の実施 （コンプライアンス研修）	直接	コンプライアンス推進参与による管理監督者等に対するコンプライアンス研修を実施する。 新任課長1回、本庁係長1回		
3	コンプライアンス推進月間の実施	直接	全ての所属において、一定の期間内の1か月間を設定し、不適切事案に係る問題点の意見交換等の取組を集中的に実施する。 任意の1か月間を所属ごとに設定		

細事業No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
2	組織の風土改革（ハラスメント対策）	313 千円	672 千円	(予算案) (要求) 675 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	ハラスメント防止対策の実施	直接	相談専用電話や職員相談員による個別対応の実施する。 相談専用電話の設置		
2	職員研修の実施 （ハラスメント防止研修）	直接	ハラスメントの一層の防止対策を図ることを目的に、所属長等を対象とした外部の専門家による研修を実施する。 年7回、1回あたり4時間		
3	カスタマーハラスメント職員研修の実施 （県民対応研修）	委託	外部講師による迷惑クレーム対応の基礎知識等の研修会を開催する。 年2回（東北信・中南信 各1回）		
4	コンプライアンス推進月間の実施（再掲）	直接	全ての所属において、一定の期間内の1か月間を設定し、不適切事案に係る問題点の意見交換等の取組を集中的に実施する。 任意の1か月間を所属ごとに設定		

細事業No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
3	適正な事務処理のための仕組みづくり（リスクマネジメント）	- 千円	- 千円	(予算案) (要求) - 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	内部統制制度の運用	直接	全所属による内部統制制度の確実な運用と定着を図るとともに、内部統制評価報告書の策定と議会への提出を行う。 全所属での内部統制の取組		
2	リスクマネジメントの強化	直接	コンプライアンス推進本部会議（細事業No.1-1）において、各部局の取組状況の共有と振り返りを行うほか、知事と部局長による重大リスクの洗い出しと対応策の検討を行う。 知事と部局長の重大リスク対話を年度当初に実施		
3	コンプライアンス推進月間の実施（再掲）	直接	全ての所属において、一定の期間内の1か月間を設定し、不適切事案に係る問題点の意見交換等の取組を集中的に実施する。 任意の1か月間を所属ごとに設定		